

第1回安堵町総合計画・総合戦略推進委員会 会議録

日 時	令和3年3月18日(木)午後1時30分～午後3時20分
場 所	安堵町役場3階会議室
出席者	<p>【安堵町総合計画・総合戦略推進委員会委員】11名 中山徹(委員長)、福井保夫(副委員長)、福田昭彦(副委員長)、石田考志、 沖昇、野戸久博、秋山利隆、山崎真季、西本安博、堀口善友、辰巳秀雄 (敬称略・順不同)</p> <p>【事務局関係職員】6名 総合政策課 吉村、富井、川畑、佐藤 株式会社ぎょうせい 今中 矢吹</p>
配布資料	<p>資料1-1 安堵町総合計画・総合戦略推進委員会委員名簿 資料1-2 安堵町総合計画・総合戦略推進委員会設置要綱 資料2 策定スケジュール 資料3 基本構想案 参考資料1 アンケート調査結果報告書</p>
会議次第	<p>1. 町長あいさつ 2. 委員のご紹介 3. 議事 (1)委員長及び副委員長の選出について (2)策定スケジュールについて (3)住民・事業者・若者・転入転出者アンケート結果及び第4次総合計画 における各種事業の進捗状況について (4)次期計画における基本構想(案)について (5)その他</p>
会 議 概 要	
開 会	
1. 町長あいさつ	
西本町長	<p>皆さま、こんにちは。お忙しい中、第1回総合計画・総合戦略推進委員会 にご出席いただき、本当にありがとうございます。本委員会は本町のまちづく りの基本的な指針となる総合計画の策定について諮問させていただくこと、 そして目標となる基本的な将来像を掲げていろいろな具体的プランを立案 し、さらには計画を進めることで、よりよいまちづくりの実現を図るといった目 的で起ち上げさせていただきました。地方創生の施策として定める「まち・ひ と・しごと創生総合戦略」の第1回目は平成27年度から31年度の5か年計 画で策定させていただきましたが、目標や進めるべき施策が関連する、ある いは重複するところがあるため、今回から総合計画と総合戦略を一体化させ ることで、よりの確かつ効果的な事業を推進しようとするものです。振り返りま</p>

	<p>すと、第4次総合計画では、住民が交流し支え合う住みやすいまちづくりということを基本テーマに進めてまいりました。しかし、人口減少に歯止めがかからず、また奈良県の県政そのものも、この10年間で方向性が変わってきたように感じられます。これからは第4次総合計画を更新しながらも、安堵町の活力あるまちづくりを目指してまいりたいと考えているところです。委員の皆さまにおかれましては、それぞれのお立場から忌憚のないご意見をいただき、安堵町がさらにより良い町に、活力のある町になるようお力添えをいただけたらと思っております。このような趣旨で本委員会を進めさせていただきますので、ご協力のほど、ご指導のほど、宜しく願い申し上げます。</p>
<h2>2. 委員のご紹介</h2>	
	<p>◆各委員に委嘱状の交付が行われた後、各委員、事務局職員の紹介が行われた。</p>
<h2>3. 議 事</h2>	
<h3>(1) 委員長及び副委員長の選出について</h3>	
<p>中山委員長</p>	<p>◆安堵町総合計画・総合戦略推進委員会設置要綱第5条に基づき、委員長の候補者を募ったところ、委員から「事務局一任」の声があり、事務局により中山委員が推薦され、承認された。</p> <p>奈良女子大学の中山です。よろしく申し上げます。今回、安堵町の総合計画・総合戦略という大変重要な計画の策定に携わることができ、非常に嬉しく思っています。皆さま方も、今後の5年間ないし10年間にわたる町の全体的な政策の指針となる大変重要な計画ですので、ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。新型コロナウイルスの問題がいつ収束するかわからない中で、自治体により様々な状況があるとは思いますが、おそらくこの5年間、10年間というものは安堵町にとって非常に重要な時期になるのではないかと思います。ぜひ、優れた総合計画・総合戦略が策定できますよう、皆さま方のご協力をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>◆以後、中山委員長が議長を務め、議事を進めた。副委員長については、中山委員長より福井委員、福田委員が推薦され、承認された。</p>
<h3>(2) 策定スケジュールについて</h3>	
<p>中山委員長</p>	<p>それでは議事(2)策定スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。</p> <p>◆事務局より、資料2「策定スケジュール」を用いて概要が説明された。</p>
<p>中山委員長</p>	<p>委員の皆さまから、ご意見、ご質問等はございますか。</p>

中山委員長	スケジュールの中にある議会報告というのは、議会の中で議決するという ことではなく、報告するだけということか。
事務局	今のところ、報告という形で考えています。
中山委員長	基本構想については5月頃に策定し、それを6月の議会で報告して終わり とし、10月頃に実施するパブリックコメントというのは基本計画についてとい うことか。
事務局	基本計画案についてのパブリックコメントとなります。
(3)住民・事業者・若者・転入転出者アンケート結果及び第4次総合計画における各種事業の 進捗状況について	
中山委員長	続いて議事(3)住民・事業者・若者・転入転出者アンケート結果及び第4次 総合計画における各種事業の進捗状況について、事務局から説明をお願い します。 ◆事務局より、資料3「第5次安堵町総合計画・第2期安堵町まち・ひと・しごと 創生総合戦略 基本構想(案)」を用いて概要説明があり、委員による検討が 行われた。
中山委員長	委員の皆さまから、ご意見、ご質問等はございますか。
秋山委員	資料3の33ページに記された Society5.0 や SDGs はまさに次期総合戦略 の策定においてキーワードになるものだと思うが、現在、町ではこれらを推進 する体制は構築されているのか。
事務局	現時点で Society5.0 や SDGs を推進していく基盤はありませんが、次期総 合戦略においては掲げるべき要素としてとらえており、それに向けた体制づく りが必要と考えています。
秋山委員	Society5.0 や SDGs の推進について基本構想の中に具体的に落とし込む 案は今のところないのか。
事務局	資料3の内容は肉付けをしていく前の段階なので、これから Society5.0 や SDGs の推進をふまえた内容にしていきたいと考えています。
福井副委員長	29ページに関連して、現在、町内の総農家数は何軒か。
事務局	総農家数は 80 数軒で、うち専業農家は2軒と聞いております。
中山委員長	20ページの事業所アンケート結果によれば、現在の事業所の立地の不便 な点として「交通が不便」、「人を雇いにくい」といった回答が多いようですが、 これは町内の商工会関係の方々にとっての一般的な思いですか。

沖委員	やはり、交通の便が悪いので小売業が伸びないという思いが強くなるのではないか。
西本町長	基本的には、町内に鉄道駅がないということが交通の便が悪いという思いにつながっているのだと思うが、大和まほろばスマートインターができたことで、道路交通においては非常に便利な地域となり、企業立地も進んでいる。確かに、鉄道を使って通勤というような観点からは不便なので、こういうアンケート結果になっているのではないか。ただし、計画の中で、山間地等の不便さと十把一絡げにしたような表現は避けるべきだ。
福田副委員長	同じアンケートでは、事業所の立地の良い点として「交通が便利」という回答もけっこうあり、大和まほろばスマートインターチェンジができたことで、車の移動をベースにした交通便の良さはある。不便だと思うのは、日常生活の中で駅に行くのにバスの本数が少ない、病院に行くのに交通の便が良くないというような観点からだ。旧県道では、朝7時半から8時半ごろの1時間で、東へ向かう車だけで200台を超えるほどの交通量があり、町として、こういった状況と住民の生活との関連なども考えてみる必要があると思う。鉄道駅がないからというより、ないからこそ今は車の社会になっている。もちろん、車がない人、車の運転が出ない人はどうするのかという観点から考えることも必要だが、近鉄では平端、筒井、JRでは大和小泉、法隆寺といった駅があり、安堵町はその真中に位置しているので、私としては便利なところだと思っている。どこに視点を置くかによって交通便についての意見は分かれるのではないか。
沖委員	安堵町の端々の地域に目を向けると、笠目や岡崎などは交通の便がいい。北部も大和小泉駅に近い。交通が便利という回答はスマートインターを利用する工場関係者の視点で、不便という回答は客を呼び込むうえで道路が整備されていないという視点からのものではないか。計画の中では、そういった視点の違いを分けて記述する必要もあると思うが、このことは今後の町の課題でもある。実際、バスが通っているとはいえ、町の真ん中は通勤、通学には不便だ。
石田委員	東西、南北とも通り抜ける道がないのが問題だ。
西本町長	今後この計画に記載していく必要があると考えていることだが、窪田地区の遊水地整備事業に関連して、ここ数年のうちに堤防沿いを抜ける道路が完成する。JRの大和路線の踏切から北に向けて斑鳩町に抜ける道もできる。これらが開通すれば、安堵町の背骨となる縦横を抜ける道が完成することになる。さらに、遊水地からコーナンの前を通って大和中央道に抜ける道については将来的に県の移譲とするよう知事と話をしている。これらができればかなり様変わりしてくるが、今はその過渡期の直前の状況にある。
沖委員	遊水地が災害対策であることはわかるが、それ以外の普段の活用について考えていることはあるのか。

西本町長	<p>基本的には、遊水地を早期に完成させ、水害から地域を守ることが第一。これと併せて有効活用を考えていくことになるが、維持管理に莫大な費用がかかるような事業では困る。そのための財源が見つかる、あるいは大きな団体に関わってもらえるような事業としての活用法を考えていく。</p>
中山委員長	<p>道路交通についてはかなり利便性が向上しており、今後も道路網の骨格を作る計画があるということですが、併せて公共交通をどのように充実させていくかということが課題になってきます。このことは、19ページにある若者(中高生)世代アンケートで(5)の満足度が低いことにも表れていますし、また、18ページの住民アンケートで31項目のうち満足度が最も低い結果となっているのが(8)であることにも表れています。自動車交通の利便性は今後かなり上がっていくと思われそうですが、同時に高齢化が進んでいく状況も考え合わせると、公共交通の充実ということが重要な課題となってくるので、このあたりを検討していく必要があります。</p>
福井副委員長	<p>遊水地の活用については、来週から会議を開いて検討していく。農家数が減っていることについては、今後どうなるのかという思いがある。また、8ページにある住民の就業地との関連で、企業誘致により町内に事業所を開設する企業が求人募集を行う際に、地元住民に雇用の場を提供できるよう町としてできるだけ協力していくべきだ。3月に町内に工場をオープンするレインボーリネンサプライについては、広報誌で求人募集したらどうかと町に進言したところ、1月号で対応してくれた。こういう取組が必要だと思う。</p>
石田委員	<p>当社では町内に住む従業員は少ない。県外から電車に乗ってくる人が多い。町内で土地を探す人が多いが、土地がない。</p>
福井副委員長	<p>現在ある町内の事業所も、求人募集の際にひと声かけてくれれば、町のほうもそれに協力するという関係が作れればいい。働くほうも職場が近いほうがいいし、事業主も近隣から雇用したほうが交通費も安く済むなど、いろいろな面でお互いにメリットがあると思う。</p>
石田委員	<p>新たに鉄道の駅を作るのは難しいか。</p>
西本町長	<p>はっきり申し上げてかなり難しい。駅には、鉄道会社が自ら負担して設置する駅と地元自治体等が請願して設置してもらう駅がある。そもそもJR大和路線と近鉄は大阪、奈良間でスピード競争の関係にあり、ひと駅増えるだけでスピードがかなり落ちるので、むやみやたらと新駅を作るつもりはない。例えば町内に大規模なコンビニートとかニュータウンができるということになれば、JR自ら新駅を設置する必要があると考えるかもしれませんが、社会状況にこのような大きな変化がない限り、新駅設置は町でJRに請願するしかない。それでも容易には乗り気にならないだろうし、仮に作ってもらうとしても、駅舎をはじめ周辺のインフラ整備、都市計画まですべて自治体側で費用を負担しなければならぬので、安堵町ではとても対応できない。</p>

山崎委員	<p>21ページの「1 学校教育」の本文にある「『GIGA スクール構想』による1人1台端末」について、安堵町では端末の持ち帰りが認められているのか。また、民生児童委員の立場から、22ページから24ページにかけての「第2節保健・医療・福祉分野」において、特に「2 高齢者福祉」と「4 児童福祉」の内容についてはとてもよく見ているということが実体験からわかるので、感謝している。それと、24ページの「1 土地利用」の本文1行目にある「1.2?km²」の表記はどうか。同じ文中にある遊水地の整備計画については、県議会でその進捗状況について質問された知事が、「土地や田が思うように手に入らない」と答弁したと聞いていたので心配していたが、先ほどの町長の発言から治水事業が進められることがわかり安心した。それから、28ページの「10 消防・救急」に記されている消防団について、安堵町ではしっかり組織されていると思っていたが、最近は団員の固定化による高齢化が問題になっていると小耳に挟んだ。実際はどうか。</p>
事務局	<p>1人1台端末については持ち帰りを認めるところまではいっておらず、現時点では校内での教育にのみ活用しています。24ページの「1.2?km²」については誤植ですので、正しい表記を確認の上、後日お伝えします。消防団については、高齢化が進んでいるとは聞いていますが、現在の平均年齢は46歳ぐらいということです。</p>
沖委員	<p>安堵町の消防団については、定数75人のところを60人前後に抑えることにより人件費の抑制を図るとともに、若い世代の比率を増やすことで高齢化を抑えつつ存続させていこうと頑張っている。</p>
事務局	<p>先ほどの福井委員からのご意見についてですが、以前、広報誌の中で約2年間にわたり毎月、町内の事業所を紹介したことがありました。それから4年近く経っていますので、また改めて町内の事業所と事業内容を広報誌の中で紹介していく機会があればと思います。また、人材募集はできませんが、広告掲載により広報誌を事業所のPRの場として活用していただくこともできます。引き続き商工会と担当部署で連携しながら、事業所による広報誌の有効活用について検討していきたいと思います。</p>
野戸委員	<p>東日本大震災以降、ネット通販業が伸びており、最近では奈良県内でも特に物流倉庫や工場等の用地利用が求められているが、なかなか適当な物件が出てこない。安堵町には今、そういった用途で土地利用ができる準工業地域がどれくらいあるのか。</p>
西本町長	<p>準工業地域で今、まとまった土地として提供できるところはあまりない。都市計画法上のことなので、今後そういった用地として提供していくとすれば、現在は農業振興地域となっているところをある程度開発しながら、都市計画法上の用途地域を変更していくことになる。そういった手段を取らなければ、まとまった土地は今後もなかなか出てこないと思う。</p>
福井副委員長	<p>王寺町では令和4年4月から義務教育学校をスタートさせるが、安堵町でも何年後かに開校させる予定はないのか。町長の考えが聞きたい。</p>

西本町長	<p>王寺町における義務教育学校は、学校の統廃合が迫られる中で考えられる選択肢として実現させたものであり、安堵町でもそれを目指していきたいとは考えている。ただ、義務教育学校の開設を将来目標として掲げることはできても、小学校、中学校のいずれかを廃校とし、用地をどこに求めるかといった問題を考えると、現時点では開設時期まで定めることはできない。目標として向かって進めていくことは確かだが、次期計画の中には書きにくい。</p>
福井副委員長	<p>高齢者福祉に関して、令和元年10月に大東市の先生を招いて介護予防のための体操など、独自の取組についての講習会を行ったが、そういったことを生かし、町内でも介護予防に積極的に取り組もうという姿勢があまり見られないのが現状だ。大東市のように理学療法士等の専門家が介護予防事業に深く関わるなど、高齢者の健康について実効性のある内容を記載していくべきだ。</p>
中山委員長	<p>高齢者福祉も含めて第6章はこれまでの総合計画がどうだったかという記述が中心ですが、今のご意見はむしろ次の議事である基本構想や、次回以降の議事である基本計画に関わってくることなので、そこで改めて議論を深めていただければと思います。</p> <p>雇用の問題は大変重要です。今後労働人口が減っていくのは確実なので、地域経済をどう動かしていくかということ考えた場合、雇用の確保が非常に重要になってきます。20ページの事業所アンケートで「立地が不便で人を雇いにくい」という回答が多かった一方で、17ページの住民アンケートでは「近くに適当な職場が少ないから住みにくい」という回答もけっこうあります。「適当な職場」という意味が少しわかりにくいですが、地元の人、特に女性や高齢者が地元で働けるような環境づくりに向けたマッチングが上手くできれば、地域経済も活性化すると思います。</p> <p>第7章にまとめられている内容はこの通りだと思いますが、去年の地方制度調査会の答申として出されたテーマは大きく2つあり、一つは33ページにもあるデジタル化、もう一つは広域連携です。安堵町の今回の基本構想の中で掲げられている「小さくても キラリと光る活力あふれるまち」という「まちの将来像」のスローガンは重要です。32ページの第3節には小さいことによるメリットが記されていますが、同時に町民の生活というものは町内だけでは完結しません。人口減少など社会動向との関係の中で、周辺市町村や県との連携をどうしていくのかということを考えていくことが非常に重要です。</p> <p>33ページでは国際化・情報化への対応として Society5.0 等を中心とした内容が書かれています。これはこれで重要ですが、現在、国会ではデジタル化について議論しており、おそらくこの夏にデジタル庁というものが設置されるものと思われます。その上で自治体の情報の標準化、共有化を進めるということなので、安堵町において行政や地域のデジタル化・情報化をどう進めていくかということも、社会動向との関係で考えていくことが重要であり、今後はそういったことも検討していただけたらと思います。</p>

(4)次期計画における基本構想(案)について	
中山委員長	<p>続いて議事(4)次期計画における基本構想(案)について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>◆事務局より、資料3「第5次安堵町総合計画・第2期安堵町まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本構想(案)」を用いて概要説明があり、委員による検討が行われた。</p>
中山委員長	委員の皆さまから、ご意見、ご質問等はございますか。
秋山委員	39ページの政策目標4の文中に「観光」というキーワードが出てくる。住民アンケート結果によれば、優先順位は低いですが、ここでは6次産業という具体的な展開まで書かれている。安堵町の観光ということになると「うぶすなの郷」があげられるが、そこで仕事をされている方が何を望んでいるか、どのあたりから来ているかといったことを分析した上で施策を展開しているのか。
事務局	「うぶすなの郷」に観光に来る目的としてはまず、富本憲吉の生家ということがあげられます。ここで提供されている料理は郷土料理ではなく、この施設の雰囲気に合わせてもので、料理も含めてこの雰囲気を味わうことを望んで来店する方が多いと聞いています。現在のところ、メニューに安堵町産というイメージはありませんが、なにかそういう色のあるものを一品、例えば安堵町の野菜を使ってというような面で事業主と連携しているというようなことは聞いています。
秋山委員	最近マイクロツーリズムとあって、地域の細かい取組が取り上げられるようになってきたが、「うぶすなの郷」周辺で観光とできるようなところはあるのか。
事務局	令和3年4月22日に広域5町と大和郡山市で広域的な観光を起ち上げるための協議会を発足させることになっています。法隆寺を中心に広域的な観光ととらえ、ビジネス系のホテルなら王寺町、門前系の宿泊なら法隆寺、プライベートな宿泊なら「うぶすなの郷」といった使い分けができれば、「うぶすなの郷」の活用度もさらに高まるのではないかと考えています。
福井副委員長	「うぶすなの郷」はいつオープンしたのか。
事務局	平成29年2月です。
福井副委員長	宿泊客数はどのくらいあるのか。
事務局	宿泊者数の実数は今、手元に記録がありませんが、オーナーが年始あいさつに来られた際の話では、令和2年が最も好調だったと聞いています。
西本町長	「Go To トラベル」事業により、普段泊まる機会のないところに泊まりたいという客がたくさん来たため、ランチも含めて「うぶすなの郷」開業以来の好成

	<p>績を収めたと聞いている。オーナーの話では、基本的に「うぶすなの郷」は滞在型の施設で、宿泊客は大学教授や弁護士といった方々が多い。何もなくてゆっくりしたいというのが、その理由のようだ。</p>
中山委員長	<p>37ページに人口シミュレーションがありますが、人口ビジョンは見直されていますか。</p>
事務局	<p>人口ビジョンについては、現在見直し作業を行っており、次回以降にお示しする予定です。</p>
中山委員長	<p>37ページの人口シミュレーションでは、社人研推計をベースとしたパターン2を目指すということですが、出生率は現在どれくらいで、将来的にはどのくらいまで上げると考えていますか。</p>
事務局	<p>社人研のデータによれば、2015年の出生率が1.28、2020年は推計値で1.16となっており、2045年までこの1.16をベースに若干増減することとなっています。本町においては、各種施策を講じることで2024年に1.2程度、その後1.35を目指し、2045年には2近く来まで上げていきたいと考えています。</p>
中山委員長	<p>安堵町において、今後出生率を上げていくことは重要な課題です。奈良県自体、全国的に見て出生率が低いところですが、2015年の1.28というのはかなり低い。それが2020年の推計値でさらに1.16にまで下がり、新型コロナウイルスの影響もあります。こうした中で、どのようなことを改善すれば、安堵町で安心して子どもを産めるような状況に持っていけるのか。そのあたりの分析をぜひ行う必要があります。安堵町を子どもを産みやすい町にしていくことは、総合計画、総合戦略の基本になります。今後施策を考えるにあたり、このあたりの分析を行っていく必要があります。</p> <p>政策目標として38、39ページに書かれていることをまとめたものが40ページの施策体系図です。次回から議論していく基本計画は、40ページの体系図をさらに具体化していく形になると思います。38、39ページに関して、この時点で何かご意見があれば出していただければと思います。</p>
山崎委員	<p>令和7年に中央卸売市場が整備されると聞いているが、安堵町からも近いので、それに関連した計画など何かあるのか。</p>
西本町長	<p>リップサービスと思える面もあるが、知事は市場をリニューアルして、市場自体は縮小し、アリーナやホテル、奈良県でとれる食材を使った飲食店を併設した施設にしたいという意向を持っているようだ。</p> <p>していく必要がある。</p>
中山委員長	<p>明確になっていない県の動きを安堵町の計画に反映させるのは難しいので、具体的にいつ時点で改めて議論できればと思います。</p>

(5)その他	
中山委員長	<p>◆事務局より、第2回推進委員会は5月25日(火)午後1時30分から開催すること、本委員会を公開とすること、委員名簿を公表することが伝えられた。</p> <p>委員の皆さまから、全体を通じてご意見、ご質問等がございますか。なければ、本日の議事はすべて終了です。</p>
閉 会	
事務局	<p>皆さま、お疲れさまでした。それでは、これで閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>